

書あり 師あり 友ありて



文化発表会を終えて

学校長 平田 高之

体育大会が終わりわずか1か月！しかも、部活動の新人大会や中間テストを挟んで限られた時間の中で、各学級・学年が、文化委員・評議員を中心に取組を進めました。体育大会で築いた学級の絆を、合唱でさらに深めていけるよう、各学級担任、学年教師も様々な工夫をしていました。

「合唱指導は学級指導」と、先輩教員によく言われましたが、まさしく、生徒たちの人間関係、信頼関係ができていなければ、声を合わせて心をつに合わせた合唱を創りあげることができません。1年生にとっては初めての、2年生にとっては昨年以上の、3年生にとっては、中学校生活最後の文化発表会でしたが、それぞれの思いが溢れた素晴らしい合唱を披露してくれました。各学年の「最優秀賞」「優秀賞」を決定しましたが、非常に難しい採点でした。3年生の最優秀クラス3年4組は、30日に行われます「明石市中学校連合音楽会」において、大蔵中学校を代表して合唱を披露しますので、3年生のみんなの思いも胸に、もう一度素晴らしい合唱を披露してほしいと思います。

そして、さらに会場が感動の渦に包まれたのは学年合唱でした。3年生は男子が低音でしっかり支え、女子と調和の取れた素晴らしい合唱でしたが、73回生は普段から男女の仲が良く、それが表れていました。後は卒業式まで歌声を聞けないのが残念です。2年生は、学年全体では自信を持って歌っていて、体育大会や部活動の新チームでの頑張りにつながっていると感じました。今後は学校のリーダーとして頑張ってくれるだろうと大いに期待しています。1年生は、学級の合唱では、普段の練習と違いとても緊張していたんじゃないかと思いますが、学年合唱は歌い切ってくれました。4月から、学級だけでなく、学年集団としての力がついてきたと大変嬉しく思いました。

東播磨地区吹奏楽コンクールで見事最優秀賞に輝いた吹奏楽部は、3年生9名が全校生徒の前で演奏する最後のステージでしたが、今回も心のこもった演奏を聞かせてくれました。コンクール曲はいつ聞いても迫力があり、今回の嵐メドレーも良かったですね。

また、第73期生徒会は、オープニングセレモニーで各学級の紹介の映像作成等、勉強が大変な中にもかかわらず、朝早くから放課後まで準備をしてくれ、会場の雰囲気を大いに盛り上げてくれました。閉会式での文化委員長の思いの詰まったスピーチも素晴らしかったです。今回に限らず、1年間本当にお疲れさまでした。

25日は、文化部、各教科等の作品展示でしたが、特に、美術部の作品のレベルの高さには、中学生でもここまで描けるのかと4月から感心していました。また、カルチャー部も普段からお花を校長室や職員室の前等に飾ってくれていますが、手芸等アイデア溢れた作品を展示してくれました。その他、教科、行事等の生徒作品はどれもレベルが高く、本校生徒の持っている力は無限大だと改めて感じさせてくれました。今後その力を伸ばしていきたいと思っています。

いよいよ3年生は進路実現に向けて、進路説明会、実力テスト等が続きますが、部活動で培ったチームワークや2学期の2大行事で育んだ学級・学年の仲間との深いつながりを大切に、励ましながらお互いの力を伸ばし合い、目標達成に向けて全力で走り切ってほしいと願っています。

当日は、ご来賓も含め400名を超える多くの保護者等の皆様にご来場頂きました。本当にありがとうございました。「学校だより第23号」でも触れさせて頂きましたが、市民会館で開催することも含め、本年度の文化発表会についてご意見等ございましたら、PTA役員の方や学校長までご連絡頂けたらと思いますのでよろしくをお願いします。

「東播新人体育大会」へのご声援ありがとうございました！

10月19・20日に「第41回東播磨地区中学校新人体育大会」が行われ、市内大会を勝ち抜いた多くの部活動が出場しました。東播磨地区は、部活動が盛んな学校が多く、種目によって違いますが全国大会・近畿大会出場レベルの学校もあり、市内より一段レベルの高いチームとの試合のため、その壁に立ち阻まれました。東播大会は会場が各地に分散しているため、一部の部活動しか応援に行けませんでした。あきらめない試合ぶりには、次の大会への期待を感じさせられました。

サッカー部は雨中の試合でした。1回戦は、前半1-0とリードしていましたが、後半追いつかれ、その後もピンチとチャンスの繰り返しの中、引き分けに終わりPK戦となりました。大蔵は蹴った生徒全員が決めたうえ、相手PKをキーパーがフライングで勝利を収めました。2回戦は、逆に前半0-1とリードされていたのを後半に追いつき、延長戦でも決着がつかずに、再びPK戦となり、今度は残念ながら敗れました。次の日にキャプテンとキーパーに出会うと、悔しさをにじませていました。この敗戦をバネに練習から集中し、次の大会での活躍を期待したいと思います。

男子バレー部は、東播大会という緊張感からか、第1セットは9-25と全く力を発揮できませんでした。第2セットは途中リードする場面もあり、21-25とあと一步のところまで迫りました。サーブ、レシーブ、トス等の基本のプレーを確実にこなさなければ、十分勝負になるということが分かったはず。今後の練習で何が必要かしっかり考えてほしいと思います。

女子バスケット部は、出だしにリードを許し波に乗り切れませんでした。途中、大蔵中のランニングバスケットで追い上げはみせたのですが、逆転まで持っていけませんでした。今後は、今まで見せてきた「逆転の大蔵」の伝統を引き継げるよう、さらに練習を積み重ねてほしいと思います。

剣道部女子の個人戦では、後1勝すればベスト8に入り県大会出場というところで、優勝者やベスト4に入った強豪選手の前に、いずれもあと一步のところまで敗れました。しかし、延長戦までもつれる粘りや果敢に攻め続ける剣道を見せてくれました。団体戦では県大会に出場しますので、負けた後の悔し涙を嬉し涙に変えてほしいと願っています。

今回生徒たちが味わった悔しさから、今のレベルをさらに上げるために何が自分たちで話し合い、今後の練習に活かしてほしいと思っています。来年6月に行われる総体に向け、明確な目標を掲げ、それに向けていかに努力できるかが大切だと考えています。

新チームがスタートしてまだわずか4か月です！まだまだこれからですし、74回生を中心にさらに頑張ってくれると信じていますので、引き続きご声援をお願いします。

- サッカー：1回戦 1-1 西脇南中 (PK勝) 2回戦 1-1 滝野中 (PK負)
- 剣道：男子団体3位 (県大会出場) 個人□□□3位 □□□ベスト8 (県大会出場)
女子団体ベスト8 (県大会出場) 個人ベスト16
- 柔道：男子団体 1-3 別府中 個人1回戦負け
- 男子バレー：1回戦 0-2 泉中
- 女子バレー：1回戦 0-2 東条中
- 女子バスケ：1回戦 47-67 泉中
- ハンド：1回戦 9-11 魚任東中
- 卓球：男子個人2回戦負け 女子個人3回戦負け

